作成日　：2020/5/15
改訂日　：2026/10/9

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	：オレート液剤
供給者の会社名称	：ＯＡＴアグリオ株式会社
住所	：東京都千代田区神田小川町 1-3-1　NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署	：品質保証室
電話番号	：088(684)0220
電子メールアドレス	：sds_info@oat-agrio.co.jp
緊急連絡電話番号	：03(5283)0251（本社）
推奨用途	：農薬
使用上の制限	：推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分 3
健康に対する有害性	
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性　（単回ばく露）	区分 1（中枢神経系、血液系）
	区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性　（反復ばく露）	区分 1（中枢神経系、呼吸器、肝臓）
環境に対する有害性	
水生環境有害性　短期（急性）	区分 2

*上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分に該当しない、または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気
H336	眠気又はめまいのおそれ
H350	発がんのおそれ
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370	中枢神経系、血液系の障害
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、血液系の障害

注意書き

【安全対策】

使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。（P203）
熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。（P210）
容器を密閉しておくこと。（P233）
容器を接地しアースをとること。（P240）
防爆型の電気／換気／照明機器を使用すること。（P241）
火花を発生させない工具を使用すること。（P242）
静電気放電に対する予防措置を講ずること。（P243）
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。（P260）

取扱い後手をよく洗うこと。（P264）
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。（P270）
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。（P271）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）

【応急措置】
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。接触部位を水又はシャワーで洗うこと。（P303+P361+P353）
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。（P304+P340）
ばく露又はその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。（P308+P316）
ばく露又はその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。（P318）
気分が悪い時は、医療処置を受けること。（P319）
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。（P370+P378）

【保管】
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。（P403+P233）
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。（P403+P235）
施錠して保管すること。（P405）

【廃棄】
内容物／容器を国際／国／都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。（P501）

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物
化学名又は一般名　：基本的に、農薬の場合は農薬登録票の農薬の名称

成分名	含有量（%）	CAS No.	官報公示整理番号	
			化審法番号	安衛法番号
オレイン酸ナトリウム	20.0	143-19-1	(2)-611	-
プロパン-1,2-ジオール	20~30	57-55-6	(2)-234	-
エタノール	1.0~10	64-17-5	(2)-202	-
水等	残量	-	-	-

成分の含有量については営業上の秘密に該当します。
各法令通知対象（リスクアセスメント）に該当する成分情報については『15. 適用法令』に記載。

4. 応急措置

吸入した場合
空気の清浄な場所に移動させ、必要があれば医師の診察を受ける。
必要があれば酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合
可能であれば衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水を用いて充分に洗浄する。
刺激等の異常が認められる場合には、医師の診察を受ける。

眼に入った場合
速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
刺激等の異常が認められる場合には、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合
水で口腔内を洗浄する。
被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
火災の状況に応じた消火剤を使用する。
初期火災：粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水
大規模火災：泡消火剤

使ってはならない消火剤
棒状注水

火災時の特有の危険有害性
加熱された容器は、破裂するおそれがある。
火災によって一酸化炭素等の有毒なガスが生じるおそれがある。
特有の消火方法
消火作業は、風上から行う。
火災時には初期消火に努める。
周辺火災の場合であって、何ら危険性を伴わない場合には、火災延焼のない安全な場所に移動させることが望ましい。移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
必ず自給式呼吸器及び状況に応じた適切な保護具を着用し、安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用し、風上で作業する。
屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。
環境に対する注意事項
河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
危険でなければ、漏れを止める。
回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。
大量に漏洩した場合には、盛土で囲って流出拡大を防止し、可能な限り回収する。
漏洩物は元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
安全取扱注意事項
火気注意。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
取扱い時には、ばく露防止のために適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置参照）を着用する。
用途以外に使用しない。
接触回避
皮膚や眼との接触は避ける。
衛生対策
作業着は再使用の前に洗濯する。
作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
保管
安全な保管条件
直射日光を避け、冷涼で換気の良い場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
管理濃度及び許容濃度は設定されていない。
設備対策
工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具

呼吸用保護具	：	必要に応じて、個人用呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	：	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	：	適切な眼の保護具を着用すること。 必要に応じて、個人用の顔の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	：	必要に応じて、個人用の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色澄明
臭い	石鹸臭

沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	可燃性あり
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	47.5℃（タグ密閉式）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	10.5（2%溶液）
動粘性率	データなし
溶解度	可溶
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.997 g/mL
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

※数値は製品の代表値である。

10. 安定性及び反応性

反応性
　データなし
化学的安定性
　データなし
危険有害反応可能性
　データなし
避けるべき条件
　高温
混触危険物質
　データなし
危険有害な分解生成物
　燃焼時には一酸化炭素等の有害なガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性
　LD_{50} 値（経口）　: >5000 mg/kg（雄雌ラット）
　LD_{50} 値（経皮）　: >2000 mg/kg（雄雌ラット）
皮膚腐食性/刺激性
　軽度の刺激性あり（ウサギ）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
　軽度の刺激性あり（ウサギ）
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　皮膚感作性：感作性なし（モルモット）
生殖細胞変異原性
　データなし
発がん性
　区分 1A に分類される成分（エタノール）を 0.1%以上含むため、区分 1A とした。
生殖毒性
　区分 1A に分類される成分（エタノール）を 0.3%以上含むため、区分 1A とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
　区分 1（中枢神経系、血液系）に分類される成分を 10%以上含むため、区分 1（中枢神経系、血液系）とした。
　区分 3（麻酔作用）に分類される成分（エタノール等）を 20%以上含むため、区分 3（麻酔作用）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
　区分 1（中枢神経系、呼吸器）に分類される成分及び区分 1（肝臓）に分類される成分（エタノール）を各々 10%以上含むため、区分 1（中枢神経系、呼吸器、肝臓）とした。
誤えん有害性
　データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
　水生環境有害性　短期（急性）
　LC_{50}（96 時間）　: 180 mg/L（コイ）
　EC_{50}（48 時間）　: 53 mg/L（オオミジンコ）

ErC_{50}（0-72 時間）　: 4.7 mg/L（ムレミカヅキモ）
水生環境有害性　長期（慢性）
データなし
残留性・分解性
データなし
生態蓄積性
データなし
土壌中の移動性
データなし
オゾン層への有害性
データなし

13. 廃棄上の注意
化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報
河川等に廃棄してはならない。
知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1993
品名（国連輸送名）	: その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
国連分類	: 3
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 127

15. 適用法令
該当法令

農薬取締法	登録番号 第 18249 号
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物：エタノール、プロピレングリコール 名称等を通知すべき危険物及び有害物：エタノール、プロピレングリコール 危険物・引火性の物：エタノール
化学物質排出把握管理促進法	非該当

その他適用される法令

消防法	危険物 第 4 類第二石油類（水溶性）
化審法	優先評価化学物質を含む
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体

16. その他の情報
参考
ＯＡＴアグリオ株式会社保有データ
ezSDS（日本ケミカルデータベース株式会社、2026）
NITE-CHRIP (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

連絡先

製品に関する問い合わせ先：コールセンター050-1724-6881

中毒に関する緊急問い合わせ先：公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1 件 2000 円）
大阪 （365 日、24 時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば （365 日、24 時間対応）	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。